



あきる野青年会議所

— Junior Chamber International Akiruno —

2022年度5月号 広報誌

変わり続ける時代のなかで。

「今」に即した運動を続けるために。



[ホームページはこちら](#) ↘

発行：あきる野青年会議所
編纂：地域ネットワーク拡大委員会



▽▽▽ □ 市民及び諸団体との交流に関すること

□ 他青年会議所会議所関係諸機関との交流に関すること

▽▽▽ □ 会員の拡大に関すること

□ 会員の資質向上に関すること

▼リーダーシップ育成委員会

新年賀詞交歓会

その一歩が未来を変える
行動せよ！そして愉しめ！

295

回例会



①あきる野青年会議所 第26 第理事長 島香裕一君による理事長所信表明
②逍遙書道会様によるパフォーマンス



③ご案内の封入作業もメンバー皆で



当日のライブ配信の様様を QR よりご覧ください。
(You Tube)

あきる野青年会議所は、昨年度、設立25周年を迎え、本年度1月1日より26年目を歩み始めました。本来賀詞交歓会では、多くの来賓の方々をお招きして行う予定でしたが、コロナウィルス感染拡大防止の観点から、開催形式を関係者のみでのオンライン生配信と致しました。このような時勢においてもあきる野青年会議所は歩みを止めず、課題に對して前向きに愉しめる人財となり、明るい豊かな社会の実現に向けて力強く運動を進めることを誓いました。

リーダーシップ育成委員会 委員長：西村明彦

2022年2月5日(土) 13:30~16:30 (13:00 登録開始)
会場：五日市交流センター(まほろばホール)

あきる野青年会議所 第296 回例会
「アドラー心理学 × 仏教哲学」
～自分が変われば未来が変わる～

「毎日が同じことの繰り返しを感じる。いつも前向きでない。アドラー心理学では「自分の分ができれば、自分自身や他人関係は激変する」と教えられています。仏教哲学においても目標達成の心とアドラー心理学とリンクする部分が多くあります。今回の公開講座では2名の講師を招き、学びの機会をご提供したく存じます。お問い合わせのうえ是非ご参加ください。(無料)

【講師紹介】
心理学講師：倉部一樹 先生
累計100名以上の心理学ワークショップ主催、スキルアップや人間関係づくりに心理学を応用。
仏教講師：野田 純 先生
仏教講座22年、「自利利他(じりりた)」の考えを一人でも多くの方に伝えるために活動。

【主催】あきる野青年会議所
地域ネットワーク 学芸委員会、委員長 来住野匠
area.network.akiruno@gmail.com



仏教講師の先生の動画です。秋川溪谷にて。
(You Tube)



地域ネットワーク拡大委員会 委員長：来住野匠

▼地域ネットワーク拡大委員会

アドラー心理学

× 仏教哲学

自分が変われば未来が変わる。
共に学び共に成長できる機会を。

予定段階ではアドラー心理学と仏教哲学を通して、前向きな未来志向を身につけ、自分が変われば未来が変わるという、コロナの時代を生きる現代において非常に意味のある機会でした。しかし、入念なる準備を重ね、開催を目前にして起こったコロナウィルス

変異株による感染爆発。今回の例会は地域の皆様をお招きしての、会場開催の公開例会。私たちが社会や地域をより良くしていくこととする団体であることから、今最善の行動は集まらないことであると考へ、中止といたしました。

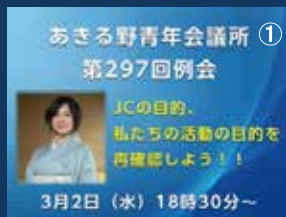
296

回例会

▼リーダーシップ育成委員会

JCIの目的、私たちの活動の 目的を再確認しよう！

どうすればリーダーになれるのか。 リーダーに必要な要素を理解する。



①当日講師の千原有美様。
JCIプログラムヘッドトレーナー。
JCI Discover でグループワーク。

青年会議所のメンバーには所属することへの個人的な目的は違えど、組織としての共通の目的を有しております。青年がより良い変化を生み出す力を持っていると信じ、明るい豊かな社会の実現を目指しているという共通目的です。当例会では、コロナ状況を鑑みて、Zoomによるオンラインワークを開催しました。



② Zoom 例会に多くのメンバーが出席。
全員でポーズを取り一致団結。

講師である上記の千原有美様のもと、リーダーに必要な要素、青年会議所を通じて向上できる能力の理解に皆で臨みました。

リーダーシップ育成委員会 委員長：西村明彦

297 回例会



①個性を発揮したディスカッション

秋川流域には多くの観光資源や魅力が存在しますが、これらを力強く伝えるためには、まず自らの個性や価値を理解することが大切であると考え、今年度初の対面での例会を開催しました。自身やメンバーの内面を探索するワークに用いたのは、推命学と色彩心理学を組み合わせた「ピーチスノウ」と

呼ばれる手法。参加したメンバーを生年月日により12の色グループに分類、講師の吉澤信也様の解説で生来の特性を把握。これをもとにしたグループディスカッションでは、分類された色の特性が驚くほど発揮され、活発な発表のもと、多くの気づきがあり、自分を知ることと今後への能動的活動を生む機会となりました。



まち活性化委員会 委員長：濱田友樹

回例会

298

Self Know Happy 秋川流域の宝探し

まずは自らの個性や価値を知ろう。 秋川流域の魅力を伝えるために。

▼まち活性化委員会

アンケートへのご協力をお願いします

広報誌をお読みいただき、誠にありがとうございます。
地域の方々からいただきました声をもとに、
今後の活動をより豊かなものへとしていきたいと、
右より簡単なアンケートへのご協力をお願い致します。



《ま ち》

～人と自然が共生できる豊かなまち～

秋川流域にはたくさんの埋もれた地域資源があり、その地域資源はまちを活性化させていくにあたり必要不可欠なものです。資源の特徴・個性を活かし、この地域の宝をより多くの方に発信することで、地域を活性化させ、魅力あるまちになるような運動を行います。



《教 育》

～子供たちが夢みるまち～

子供たちの取り巻く教育環境が日々大きく変化し、思考力・判断力・表現力を重視した教育が行われているなかで、地域としてもっと子供たちが夢や希望を持てるような教育づくりを行う必要があります。夢や希望を持続させることより深刺(はつらつ)な子供たちを増やし、夢が叶う幸せなまちになる運動を行います。



《経 済》

～市民がよろこび集うまち～

独自の個性・魅力を備えた自立性の高い産業づくりが求められる時代において、新しい観光産業を発掘することは重要な課題といえます。創意工夫により新たな観光産業を振興し、地域独自のまちおこしにつながる運動を行います。



《国 際》

～地域に根差したグローバルなまち～

グローバル化の進展に伴い、国の枠を超えた様々な生活や文化を理解し、多文化共生をしていかなければならないと考えます。そのため多文化を知る環境づくりや交流をし、より広い価値観や考え方を多角的に捉えられる、国際感覚の豊かな市民を育成するまちとなるような運動を行います。



青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を目指し、
ひとづくり(次世代を担う子供のため)、まちづくり(愛する地域のため)、
自分づくり(自己成長)を通して、より良い社会をつくります。

あきる野JCでは
新会員を募集しています



ホームページは
こちらより▼

